



関川村立関川小学校 学校だより 令和2年度 3号

教育目標
ゆたかな心
たくましい体
すすんで学ぶ
関川の子

失敗を恐れず、間違いを恐れずチャレンジしてみよう

校長 見原 仁

緊急事態宣言が解除され、学校も日常を取り戻しつつあります。

しかし、毎朝自宅での検温、スクールバスの小中分散登校や登校後すぐの手指消毒、検温確認等、教室に行くまでの間に、これだけの感染予防対策を行っています。当然ですが、マスクの着用、こまめな手洗い、教室の机の間を開ける、友達と距離を置いて遊ぶ等々の指導、配慮を行いながら、毎日の教育活動を進めています。これからは、暑い季節を迎えます。エアコンをつけても同時に2方向の換気を行うなど、感染症対策と熱中症に配慮しながら、教育活動を行ってまいります。

さて、6月の各教室でのビデオ視聴による全校朝会で、次のような話をしました。

校長先生が、先生たちをお願いしていることがあります。

それは、「失敗を恐れない」ということです。失敗を怖がらず、何事もやってください、ということなのです。

でもね、これは、皆さんにもお願いしたいのです。

人間は失敗する生き物です。どんなに一生懸命準備しても失敗することがあります。例えば、サッカーやバスケットボールでシュートが入らないことがありますよね。野球で、ヒットを打てないことがありますよね。練習してきたのに、思うようにいかないのです。

でも、失敗したらどうしよう、と思って何もしなかったらそれで終わりです。もしかしたらシュートが入るかもしれないのに、何もしなければ絶対に入りません。

いいじゃないですか。失敗しても。次にまたやり直せば良いのです。その代わりに、同じ失敗をしないように工夫をしたり、友達に助けてもらったりすれば良いのです。

この後、子どもたちには「教室はまちがうところだ」(蒔田晋治：作)という本の一部を紹介しました。

教室はまちがうところだ

まちがった意見を言おうじゃないか

まちがうことをおそれちゃいけない

まちがった意見を まちがった答えを

みんなで出しあい 言いあうなかでだ

そうしてみんなで 伸びていくのだ

みんなどしどし手をあげて

まちがった答えを言おうじゃないか

まちがったものを わらっちゃいけない

ああじゃないか こうじゃないかと

ほんとのものを 見つけていくのだ

関川小学校の子どもは、恥ずかしがり屋の一面があり、間違いを恐れているのかなと感じることがあります。担任の指導により、改善されてきていると思いますが、間違いを恐れず行動するという気持ちは十分とは言えません。

私自身、大人になって思うことは、子どものうちに間違えておけば、いろんなことも記憶に残るし、度胸がつくし、いいことがたくさんあるということです。ただし、「教室はまちがうところだ」にもあるように、「まちがったものをわらっちゃいけない」という考え方は大切です。併せて指導を重ねていきます。

変化の大きい時代を生きる子どもたちに必要な力だと考えるのは、私だけではないと思います。チャレンジする心を育てていきましょう。